

事務事業 No./名称	□サービス部門 教総-16 教職員運営事業 ■支援部門					ザイムスコード及び個別事業名		
						1122	教職員人事事務・負担金他	
主管課	学務課		関連課			1124	職員健康診断・被服貸与事務	
分野名	学校教育							
目標 (目標値)	教職員の健康管理及び適材適所の人事配置により、学校教育の円滑な運営を行う。							
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度		備考			
	人口	176,669人	176,484人		・各年4月1日 (住民基本台帳) ・教職員数は定数			
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯					
	教職員数	612人	615人					
運営資源 状況	決算値	12,236千円	12,127千円			指標と評価		
	(国・県)					指標	教職員健康診断(人間ドック含)	
	(負担金等)					評価	◎	
	(一般財源)	12,236千円	12,127千円			◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		
	人員配置数	2.0人	2.0人				目標値	実績値
	人件費	18,296千円	18,806千円			20年度	615	615
	協働の パートナー					21年度	612	612
事務事業 運営経費	総事業費	30,532千円	30,933千円			22年度	625	
	市民1人当 りの経費	173円	175円			23年度	625	
	対象者1人 当りの経費	49,889円	50,298円			最終年度 (24年度)	625	
ベンチマーク (県内外自治体や民間 団体との比較値)	団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	逗子市	平塚市		
	児童生徒数	10,943人	32,649人	18,890人	3,961人	20,995人		
	教員数(本務者)	582人	1,541人	898人	214人	1,138人		
創意・工夫・課題等 改善状況	課題・問題点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) (1)教職員の年齢構成の偏りによる高齢化。 (2)団塊世代管理職の退職年度の集中化。						
	創意・工夫・課題等の改善点 21年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) (1)人事異動で他市との人事交流を図るが、未だ年齢構成の偏りは解消していない。 (2)教職員のメンタルヘルスチェックを委託で行い、職場のストレス対策に努めた。						
	未解決の課題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) (1)教職員の年齢構成の偏りによる高齢化。 (2)団塊世代管理職の退職年度の集中化。						
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) (1)他市との広域人事交流を図り、年齢構成の偏りの平準化を目指す。 (2)管理職への若手人材登用の推進を図る。						
一次評価(課長評価)					二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了								
評価結果	改善の必要性	心身ともに健全・健康な教職員を適材適所に配置することにより学校運営、教育活動を活性化し、教育に対する広範な市民要望の具現化に努める。			評価結果	改善の必要性	適材適所の人事配置により、学校教育の円滑な推進や運営を図ることが望まれており、その期待に答えるとともに、あわせて教職員の健康管理、福利厚生 の充実を図ることにより適切な人事管理を行う。	
A	有				A	有		
課長名		学務課長代理 天野 宏哉			部名・部長名		宮田 茂昭	